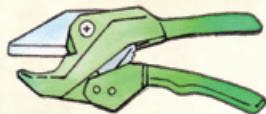


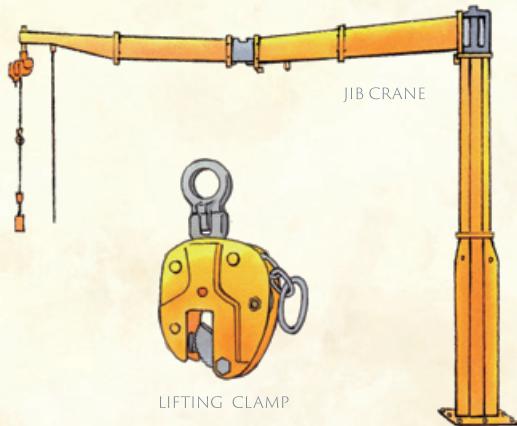


第62期 事業のご報告

2021年3月16日 ▶ 2022年3月15日

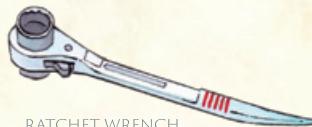


PVC PIPE CUTTER

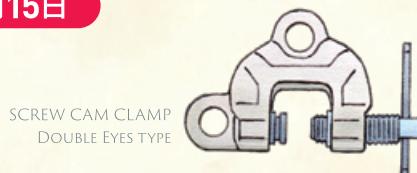


JIB CRANE

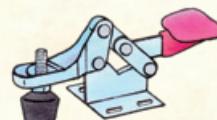
LIFTING CLAMP



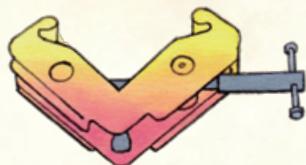
RATCHET WRENCH
DOUBLE SIZE



SCREW CAM CLAMP
DOUBLE EYES TYPE



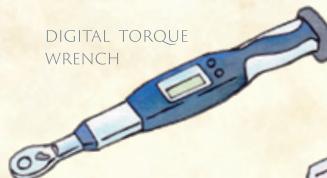
TOGGLE CLAMP



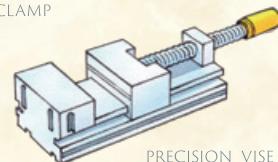
BEAM CLAMP



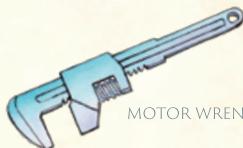
MICRO AIR GRINDER



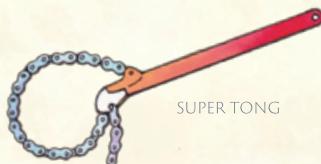
DIGITAL TORQUE
WRENCH



PRECISION VISE



MOTOR WRENCH



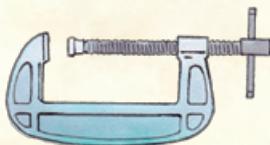
SUPER TONG



TUBE CUTTER



MULTI CRANE



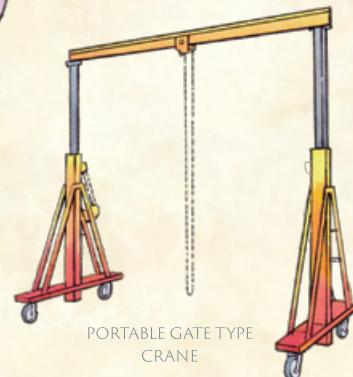
C CLAMP



SUPER LOCK HOOK



GEAR PULLER



PORTABLE GATE TYPE
CRANE

株式会社スーパーツール

証券コード:5990

株主の皆様へ

TO OUR SHAREHOLDERS



代表取締役社長

灰野 尚己

株主の皆様には、日頃より格別のご支援を賜り、厚くお礼申しあげます。
ここに2021年3月16日から2022年3月15日までの第62期の事業概況についてご報告申しあげます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の実施により厳しい状況が続くなか、ワクチン接種の普及などにより緩やかながらも回復に向けた動きが見られるようになりました。しかしながら、新たな変異株の発生による感染再拡大リスクや原材料価格の上昇、原油価格の高騰などにより先行き不透明な状況で推移いたしました。また、世界経済につきましても、同様に変異株による一部の地域での感染再拡大や、ロシアのウクライナ侵攻により、先行きの不透明感は一層高まることとなりました。

このような状況のなか、金属製品事業につきましては、販売拡大、ブランドイメージ及び認知度向上を目指した取り組みに注力しながら、販売では、顧客ニーズ把握の効率化を目指したマーケティングオートメーション活用や、より訴求力を高めるホームページ制作に取り組んでまいりました。また、製品開発においては、製販一体となり、あらゆる産業の様々な環境を想定したユーザー目線に立ち、より一層の作業効率向上を目指し、既存製品のラインナップ拡充も含めた新製品の開発に注力してまいりました。さらには、生産設備更新による生産効率向上、コストダウンの取り組みなど、収益の安定化に取り組んでまいりました。

一方、環境関連事業につきましては、依然として厳しい事業環境が継続するなか、制度改正等による事業環境の変化を見据えた商材の充実などにも注力し、収益確保に努めてまいりました。

これらの結果、売上高は7,957百万円(前期7,305百万円、8.9%増)となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は414百万円(同322百万円、28.4%増)となりました。

以上の業績内容を踏まえ、当期の配当金につきましては、2022年6月13日に1株につき30円をお支払させていただきます。この結果、当期の年間配当金は、中間配当金30円と合わせ、1株当たり60円となりました。

株主の皆様におかれましては、何卒格別のご理解をいただき、倍旧のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。

2022年6月



金属製品事業

多彩な製品群により、幅広い産業で使用される当社製品において、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況が続くなか、国内販売において、作業工具の分野では、豊富なラインナップとユーザー目線で付加された自動調整機構を備えたプライヤなどの新製品発売によりレンチ類の売上が順調に推移いたしました。産業機器の分野では、早送り機能を追加した治具パーツ類など、機械加工において作業効率に優れた治具工具類の売上が順調に推移いたしました。

海外市場では、当社の主要市場である韓国やワクチン接種が進んだ地域などにおいて景気に持ち直しの動きがみられたものの、新たな変異株による一部の地域での感染再拡大やウクライナ情勢等により先行き不透明な状況が続くなかで、韓国では現地法人の強みを活かした営業活動に取り組み、その他の地域においても安全性と日本企業の製品であることをアピールポイントとしながら、吊クランプ類の積極的なプロモーション展開や、顧客との緊密なコミュニケーションにより信頼関係を構築しながら粘り強い営業活動に取り組んだ結果、海外において売上は堅調に推移いたしました。

これらの結果、当事業の売上高は5,192百万円(前期4,628百万円、12.2%増)、セグメント利益は972百万円(同863百万円、12.7%増)となりました。

大きさに合わせて自動調整!



スリムヘッドウォーターポンププライヤ

売上高 (単位: 百万円)



主要製品

作業工具:

レンチ、スパナ、プライヤ類・
配管工具類・プーラ類

産業機器:

治具工具類・吊クランプ類・
クレーン類・マグネット類



環境関連事業

固定価格買取制度(FIT)から新たな制度であるフィードインプレミアム(FIP)への改正等による事業環境の変化はあるものの、制度改正等による厳しい事業環境のなか、より筋肉質な事業体制を構築すべく、太陽光発電事業のノウハウを活かしたフィービジネス推進を図るとともに、太陽光発電所の施工や関連機器の販売に取り組みました。

また、発電所事業の仕掛案件の進捗もあり、売上高、利益ともに前期を上回りました。なお、売電部門では、大阪府南河内郡河南町及び柏原市に設置しています3か所の発電所が順調に稼働しており、収益の安定化に寄与しています。

これらの結果、当事業の売上高は2,765百万円(前期2,676百万円、3.3%増)、セグメント利益は94百万円(同92百万円、2.2%増)となりました。



水上太陽光発電

売上高 (単位: 百万円)



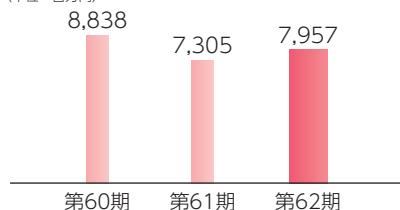
主要事業

太陽電池モジュール及び関連機器の販売、電気工事事業、管工事、太陽光発電システムの設計・施工、売電事業、太陽光発電所販売など

業績ハイライト

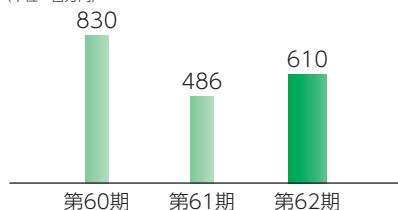
売上高

(単位: 百万円)



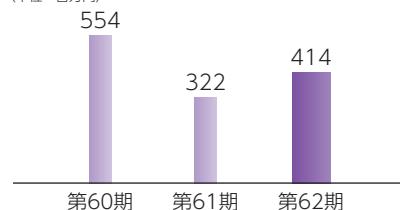
経常利益

(単位: 百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益

(単位: 百万円)



連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当期末	前期末
	2022年3月15日現在	2021年3月15日現在
資産の部		
POINT 01 流動資産	6,042	8,565
POINT 02 固定資産	6,268	6,286
有形固定資産	5,740	5,800
無形固定資産	67	59
投資その他の資産	459	426
資産合計	12,311	14,852

POINT 01 流動資産 2,522百万円減少

受取手形及び売掛金の減少723百万円、商品及び製品の減少569百万円、前渡金の減少547百万円、未収入金の減少493百万円、現金及び預金の減少463百万円、仕掛品の増加248百万円等により、2,522百万円減少しました。

POINT 02 固定資産 18百万円減少

建物及び構築物の減少31百万円等により、18百万円減少しました。

POINT 03 負債合計 2,789百万円減少

短期借入金の減少1,520百万円、支払手形及び買掛金の減少685百万円、未払金の減少603百万円、未払法人税等の増加54百万円、長期借入金の減少99百万円等により、2,789百万円減少しました。

(単位：百万円)

科目	当期末	前期末
	2022年3月15日現在	2021年3月15日現在
負債の部		
流動負債	1,187	3,863
固定負債	1,636	1,750
負債合計	2,823	5,613
純資産の部		
株主資本	7,044	6,780
資本金	1,902	1,902
資本剰余金	835	837
利益剰余金	4,447	4,154
自己株式	△ 140	△ 114
その他の包括利益累計額	2,442	2,457
その他有価証券評価差額金	125	139
繰延ヘッジ損益	1	1
土地再評価差額金	2,317	2,317
為替換算調整勘定	△ 0	△ 0
純資産合計	9,487	9,238
負債純資産合計	12,311	14,852

	第61期	第62期
自己資本比率	62.2%	77.1%
1株当たり当期純利益	158円15銭	203円92銭

配当金推移

1株当たり配当金推移 (円)

	第59期	第60期	第61期	第62期
年間	100	90	60	60
中間	45	45	30	30
期末	55	45	30	30

※当社は、2018年9月16日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。第59期の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり配当金」を算定しております。また、第59期の期末配当について、1株当たり10円の記念配当を実施いたしました。これにより、第59期の期末配当金は55円（普通配当45円、記念配当10円）となっております。



連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当期	前期
	2021年3月16日から 2022年3月15日まで	2020年3月16日から 2021年3月15日まで
POINT 04 売上高	7,957	7,305
売上原価	6,017	5,430
売上総利益	1,939	1,874
販売費及び一般管理費	1,248	1,315
営業利益	691	559
営業外収益	21	24
営業外費用	101	97
POINT 05 経常利益	610	486
特別利益	0	—
特別損失	1	5
税金等調整前当期純利益	609	481
法人税、住民税及び事業税	232	198
法人税等調整額	△ 36	△ 40
法人税等合計	195	158
当期純利益	414	322
親会社株主に帰属する当期純利益	414	322

POINT 04 売上高

前期に比べ652百万円増加しました。セグメント別では金属製品事業は563百万円増加、環境関連事業では88百万円増加しました。

POINT 05 経常利益

効率的な事業活動に取り組み、利益確保に努めた結果、売上高の増加により124百万円増加しました。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当期	前期
	2021年3月16日から 2022年3月15日まで	2020年3月16日から 2021年3月15日まで
POINT 06 営業活動による キャッシュ・フロー	1,555	△ 414
POINT 07 投資活動による キャッシュ・フロー	△ 217	△ 497
POINT 08 財務活動による キャッシュ・フロー	△ 1,809	1,545
現金及び現金同等物に 係る換算差額	8	4
現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	△ 463	637
現金及び現金同等物の 期首残高	2,116	1,478
現金及び現金同等物の 期末残高	1,652	2,116

POINT 06 営業活動によるキャッシュ・フロー

仕入債務の減少685百万円、法人税等の支払額179百万円等により資金の減少がありましたが、売上債権の減少723百万円、税金等調整前当期純利益609百万円、前渡金の減少547百万円、未収入金の減少493百万円等により1,555百万円資金が増加となりました。

POINT 07 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出202百万円及び無形固定資産の取得による支出13百万円等により、217百万円資金が減少となりました。

POINT 08 財務活動によるキャッシュ・フロー

短期借入金の減少1,520百万円、配当金の支払額122百万円、長期借入金の返済による支出114百万円により、1,809百万円資金が減少となりました。

TOPICS 01

片手でラクラク操作! 大きさに合わせて自動調整する 口開きフルオート機能!

パイプ・丸棒・六角ナット・板材等あらゆる部材をガッチリと掴むウォーターポンププライヤシリーズに部材の大きさに合わせて自動調整する口開きフルオートタイプが登場。ボタンなどでのサイズ調整が不要のため、左利き・右利きどちらの手でも作業が可能。プライヤ本体のジョイント部は、遊びが少なく、ガッチリと部材を掴み、スリムなヘッド部分により、狭い場所での作業など、あらゆる作業シーンでの効率アップが期待できます。また、特殊合金鋼を使用し、最適な熱処理で耐久性は抜群。抗菌仕様のグリップで衛生面にも配慮しました。



TOPICS 02

素早いサイズ合わせを実現! クイックウォーム機構付きモーターレンチ

モンキレンチに比べて、口開きが大きく用途が広範囲なモーターレンチシリーズにウォームを引くだけで素早いサイズ合わせが可能なクイックウォーム機構付きのたて型クイックワイドモーターレンチを新発売しました。クイックウォーム機構がないタイプではウォームと呼ばれる部品を部材のサイズに合わせて何回も回す必要がありましたが、この機構により、その煩わしさが解消され、作業スピードアップが見込めます。また、専用の取手パイプ付きで、力が必要な部材の取り付けや取り外しもスムーズに作業できます。





会社の概況 (2022年3月15日現在)

設立	1960年12月10日
資本金	1,902百万円
本社・工場	大阪府堺市中区見野山158番地
支店	大阪支店(大阪府堺市) 東京支店(東京都品川区) 名古屋支店(名古屋市中区)
営業所	札幌営業所(札幌市白石区) 仙台営業所(仙台市若林区) 新潟営業所(新潟市東区) 北関東営業所(さいたま市見沼区) 広島営業所(広島市西区) 福岡営業所(福岡市博多区)
物流センター	東部物流センター(さいたま市見沼区)
子会社	株式会社スーパーツールECO(本社:大阪府堺市) SUPER TOOL KOREA CO., LTD.(韓国ソウル市)

役員 (2022年6月10日現在)

代表取締役社長	平野 量夫
取締役	小中 涉
取締役	田中 穰
取締役	村上 裕
社外取締役	赫 高規
取締役等委員	安井 春彦
社外取締役等委員	田中 豪
社外取締役等委員	深堀 知子



株式の状況 (2022年3月15日現在)

発行可能株式総数	6,000,000株
発行済株式総数	2,084,304株 (自己株式数62,421株を含む)
1単元の株式の数	100株
株主数	1,705名

大株主の状況

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
ホライズン株式会社	170	8.40
THE HONGKONG AND SHANGHAI BANKING CORPORATION LTD - SINGAPORE BRANCH PRIVATE BANKING DIVISION CLIENT A/C 8221-563114	119	5.92
NHGGP JAPAN OPPORTUNITIES FUND, L.P.	104	5.16
BANK JULIUS BAER SINGAPORE INDIVIDUAL PORTFOLIO NO. SG06922000-02	88	4.35
SMBC日興証券株式会社	70	3.46
竈 利英	45	2.24
上田八木短資株式会社	45	2.22
SHIGETA MITSUTOKI	44	2.19
吉川 明	35	1.76
株式会社池田泉州銀行	34	1.68

※1. 持株比率は自己株式(62,421株)を控除して算出しております。
 ※2. 2022年6月9日付で第三者割当増資に係る払込が実施されたことにより、同日付でトラスコ中山株式会社が223千株を所有しております。

株主・株式分布状況



株主メモ

事業年度	毎年3月16日から翌年3月15日まで
期末配当金 受領株主確定日	3月15日
中間配当金 受領株主確定日	9月15日
定時株主総会	毎年6月（事業年度末日の翌日から3ヵ月以内）
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 電話 0120-094-777（通話料無料）
同連絡先	
上場証券取引所	東京証券取引所スタンダード市場
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL https://www.supertool.co.jp (ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。)
単元株式数	100株

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。



株式会社スーパーツール

〒599-8243 大阪府堺市中区見野山158番地
TEL (072) 236-5521(代表)

ホームページ
のご案内

<https://www.supertool.co.jp>

当社ホームページでは、最新のニュースやIR情報、製品情報などさまざまな情報をご提供しています。

スーパーツール

検索



IR情報



製品情報



カテゴリや目的別に詳しい製品情報を見ることができます。またピックアップ製品としてスーパーツールがおすすめする新製品等をご紹介します。

動画で見るツール使用法



チラシ等のPDFや使用例の動画をご用意しております。



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。